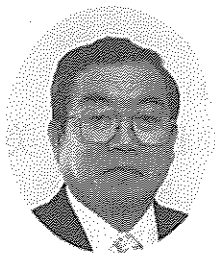




校舎前の桜並木



就任のご挨拶

同窓会長 伊東尚志

同窓会員の皆様には、益々ご健勝でご活躍ご隆昌のこととお喜びを申し上げます。

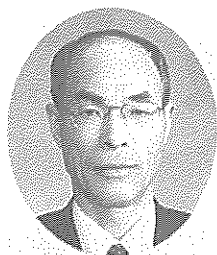
母校上市高校は、かつての1学年450人の普通・農業・畜産・林業・薬業の総合課程から、総合学科200人制に移行し、更に昨年度より160人定員となり、大規模校の旨みや勢いを知る会員の皆様には一抹の淋しさが残ることと存じます。しかし学校現場では校長先生をはじめ教職員一丸となって、変革の時代に対処していただき、生徒諸君も総合学科の機能を理解され、学校も変わりつつありますことは大変喜ばしいことと存じます。

さて昨年の総会の席上で中川会長の突然の発議によりその職をお預かりすることとなりました。上市町長の職にある故とは存じましたが、伝統や多数の先輩方のお顔

があり、気の重いことでありました。ひたすら中川会長の心情と願いを思い、お引き受けした次第です。初めてお耳にされることは存じますが、どうぞ宜しくお願い申し上げます。因みに、私は、昭和38年農業科卒であります。創校以来の「勤労、自治、向上」の建学の精神が、同窓会員の皆様から在校生に脈々と受け継がれるように、信頼の醸成に努めてまいります。

校舎が改築され周辺整備も進み、良し悪しは別に、環境は一変しています。通学環境も一変しています。是非時間を割いて会員を誘って来校いただくことを願っています。皆さんにとって新しい発見があると思います。

会員の皆様のご健康と栄をご祈念申し上げご挨拶いたします。



ご挨拶

校長 牧野 重雄

会員の皆様には、益々ご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。また、日頃から本校の教育の充実と発展のために多大なご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

私は、この4月に、伝統ある本校に着任いたしました。雄大な立山連邦を一望し、悠久の歴史を湛える上市川のほとり、風光明媚な恵まれた環境に位置する本校に勤務することができ、誠に光栄に思います。

本校では、総合学科の特色を十分に発揮するために、生徒の進路への自覚を深めさせる動機となるような科目を開設するとともに、生徒の科目選択に対する助言や、進学希望者・就職希望者の双方を視野に入れた進路指導などガイダンス機能の充実に力を注いでいます。

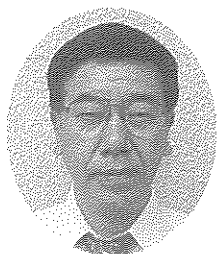
今後は、総合学科のねらいを更に具現化するために、選択科目群を整理して、学習の系統性を重視したコアカリキュラムを導入していく予定です。

ところで、物質的に満ち足りた中で生まれ、何不自由なく育った今の若者たちの中には、できるだけ楽をして実だけを取りたいという傾向があります。

私は機会あるごとに、「夢や目標を実現するためには、そのような甘い考えは捨て、なすべきことを怠まず弛まず続けるところにこそ、道は拓けるという鉄則を忘れてはならない。自らに鞭を打ち、耐え忍んでこそはじめて鳥肌の立つような感動やしみじみとした成就感を味わうことができるのだ」と、生徒に語りかけています。

そして、教育の不易の部分である「鍛える」「我慢させる」「挑戦させる」ことを様々な教育活動の中で実践して、「楽ではないが、実に楽しい」と、生徒が言ってくれる学校、元気のある学校をつくりたいと思います。

終わりに、会員の皆様の益々のご発展とご多幸を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



自己実現への飛躍

副校長 寺田 允美

上市高校は2度目の勤務で、ほぼ20年ぶりである。春、霊峰剱岳、清流上市川を久し振りに見た。大伴家持が「立山に零り置ける雪を常夏に見れども飽かず神からならし」と詠んだ、気高く荘厳な山谷である。正門から両側にずらり続く桜並木等をもしみじみと眺めた。まことに懐かしく、胸に迫るものであった。しかし、こういう自然や施設等ハード面は不変だったが、内容等ソフト面は大変だった。20年前は、普通科・農業畜産科・生活科・薬業科・農林工学科がある総合高校だった。私が他校に行っている間に上記の学科がなくなり、平成9年度に総合学科に変貌した。これには、同窓会の支援による施設設備の充実があったと聞いている。

総合学科の理念は、生徒の個性・主体性の伸長であり、個に応じた適切な進路の自己実現である。そのため、進路学習とそれに連動する科目選択が重視される。本校で

は、人文国際・自然科学・福祉健康・グリーン・情報ビジネス・スポーツ科学、の6分野を設け、生徒が自己の進路希望に応じてどれかを選択している。来年度からは、さらにその徹底と有機的関連を期するため、「コア・カリキュラム」を導入する。これら6分野は、今日的テーマである、国際化・少子高齢化・情報化・環境エネルギー問題・心身の健康と余暇の活用を視野に入れ、関連させている。生徒が進路を自己実現するためには、目標の明確化具体化、自己を高める不断の努力が不可欠である。そして、自己変革し飛躍しなければならない。

本校生は明朗素直で思いやりがある。この長所を生かし、進路に向かって邁進してほしいものである。進路は自分で拓くものだ。学校はそれをしっかりサポートし後押しする。同窓生の方々も、後輩を温かく見守り、励ましていただければ幸いである。